

第12回在宅医療看護を考える会

在宅リハビリと連携 「嚥下訓練について」

訪問歯科衛生士フリーランス
嚥下トレーナー歯科衛生士

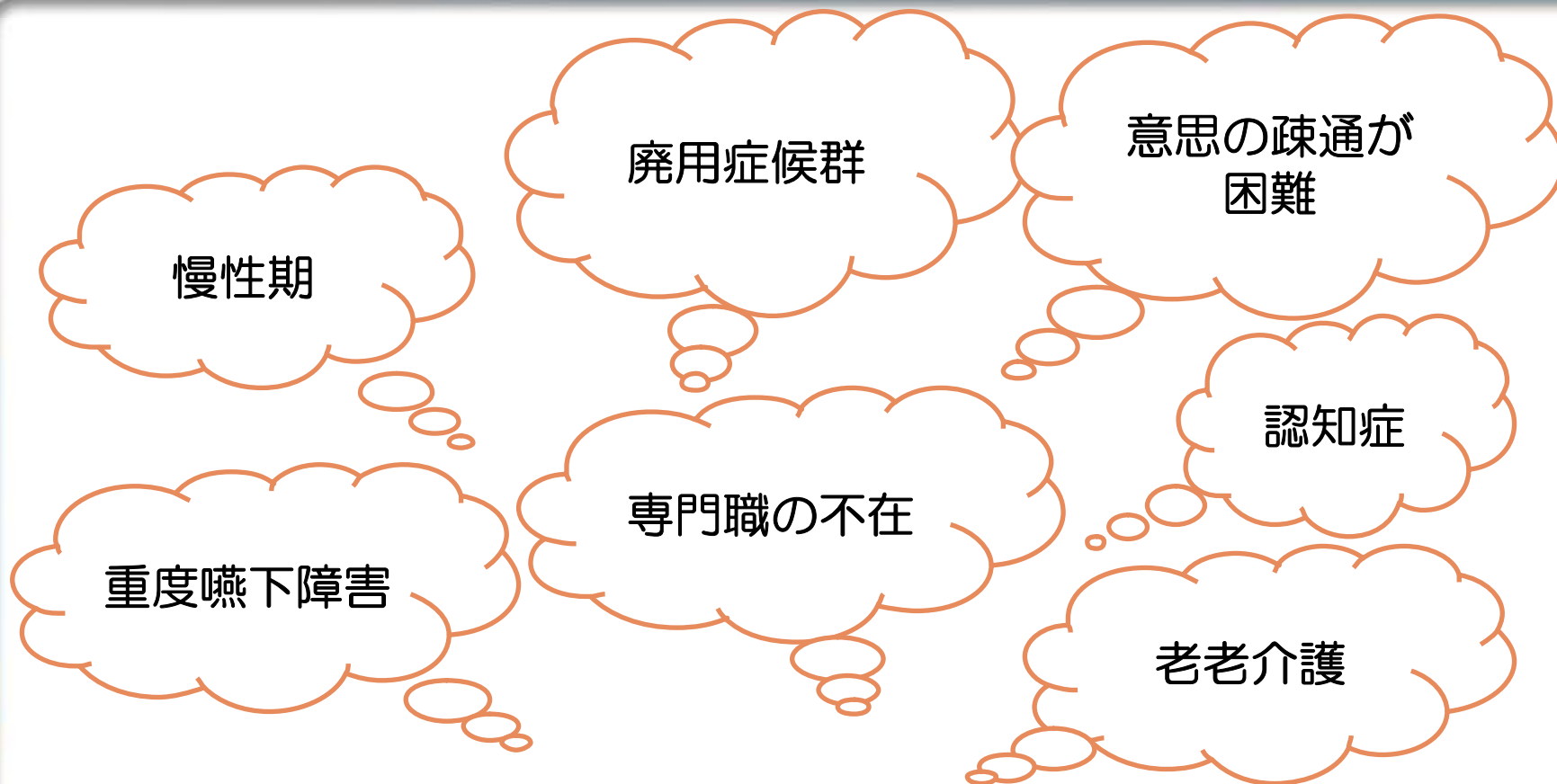
金子 信子

平成21年8月8日

在宅で医療・看護・介護を要する人イメージ



その背景



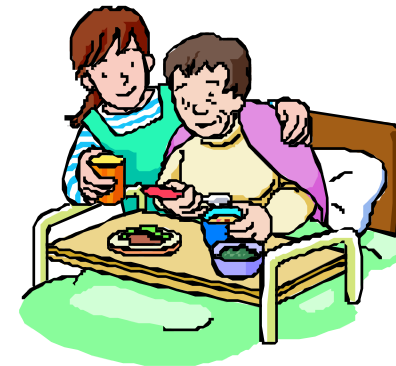
訓練が困難な場合がある

このようなことを考慮すると

訓練よりも、食事支援が必要

食事の環境設定や食事介助の工夫等を提案し、安全に
安楽に食事が出来るように支援することが大事！

機能や能力に対するアプローチよりも、不利な状況に
アプローチして改善しよう！



実際の取り組み

姿勢が悪くないかな？

目が覚めて食事と分かっているかな？

声はどうだろう？

呼吸はどうだろう？

食べる速さと量は？

体力は大丈夫かな？

口腔内はどうだろう？

嚥下状態はどうだろう？

全体的なバランスは？

このようなところを観察して、対応を考えます

取り組みの1例

目が覚めて食事と分かっているかな？

→食事と認知出来ているか
→食事のタイミングに合わせて、マッサージ

姿勢が悪くないかな？

→崩れた姿勢や円背の場合は、クッションやタオルで補整

声はどうだろう？

→湿性嚔声の場合、声帯付近の貯留→誤嚥の可能性→咳を促す

口腔内はどうだろう？

→食べ物を感じることが出来るか→口腔ケア

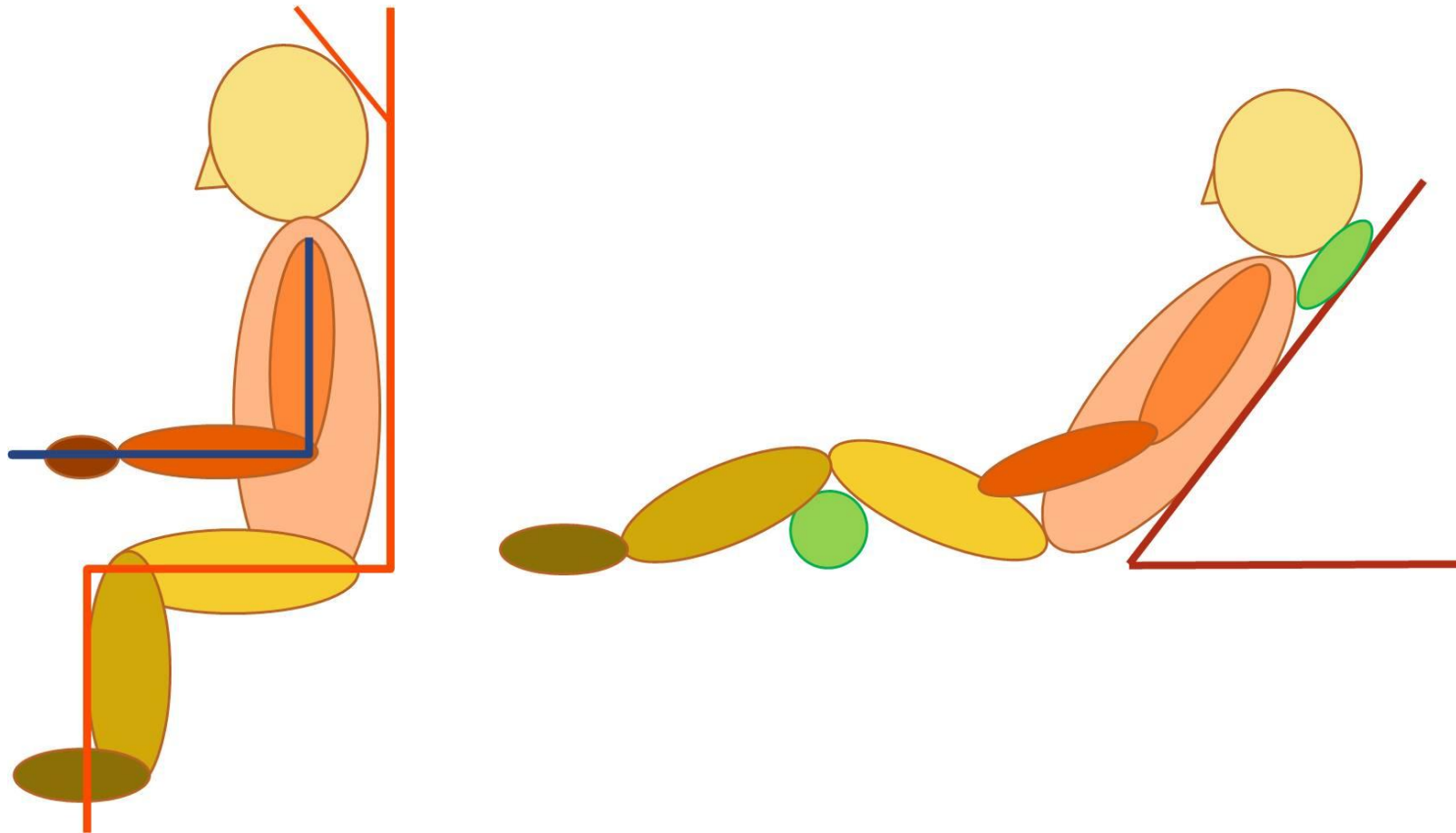
呼吸はどうだろう？

→むせた時に咳を出す
大事な役→食事の前の深呼吸で呼吸を整える



姿勢について

頸部がやや前屈になるように調整
後屈になっても極端な前屈になっても食事はしにくいです。



取り組みの1例

食べる速さと量は？
→ペース配分，一口量の調整

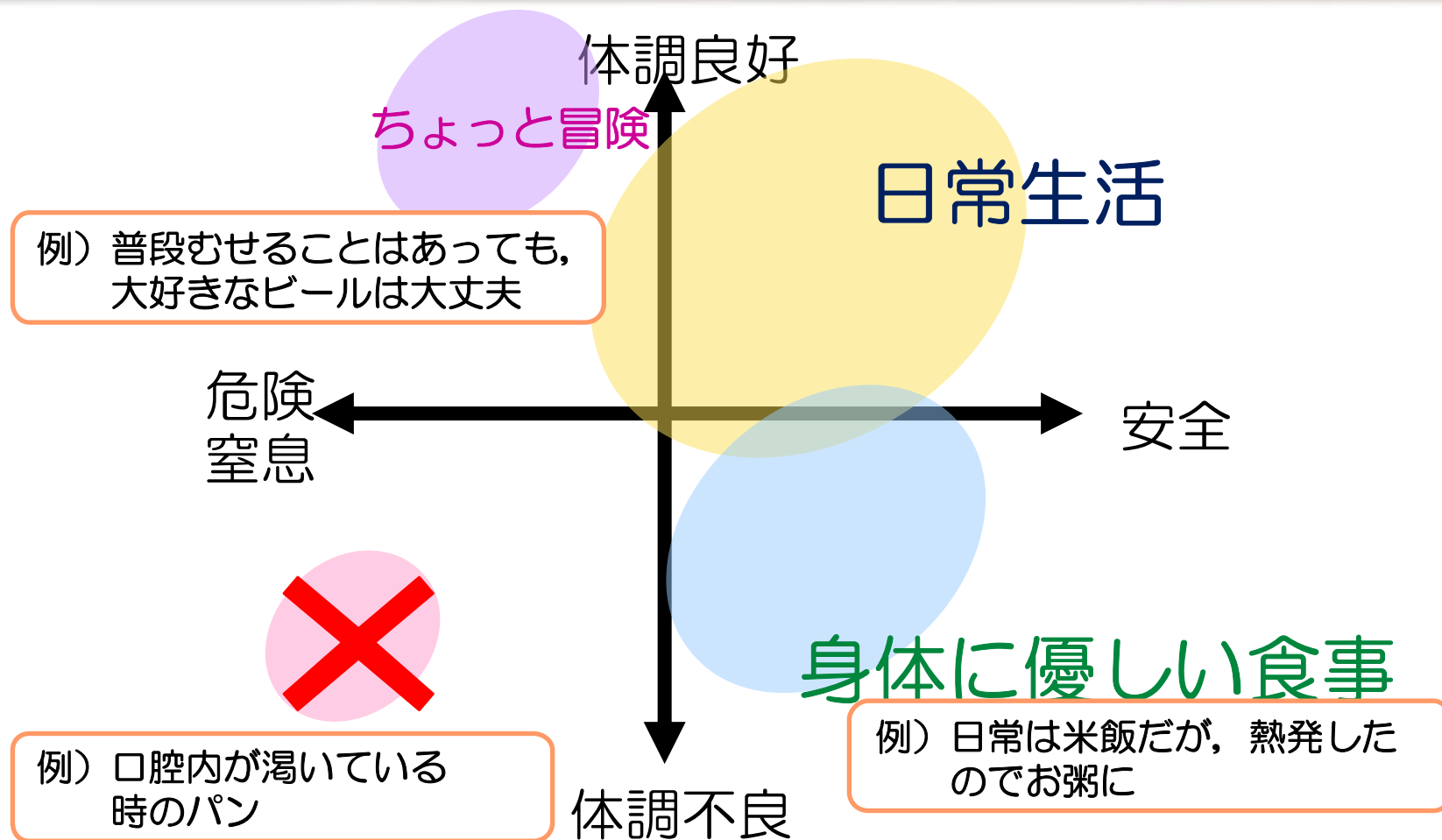
嚥下状態はどうだろう？
→むせてる場合は，とろみ調整を考える．嚥下を意識してもらう．



体力は大丈夫かな？
→身体に優しい食事を選択

全体的なバランスは？
→なんとなくバランスが悪い場合は，どこかのバランスが悪いことに対してアプローチ

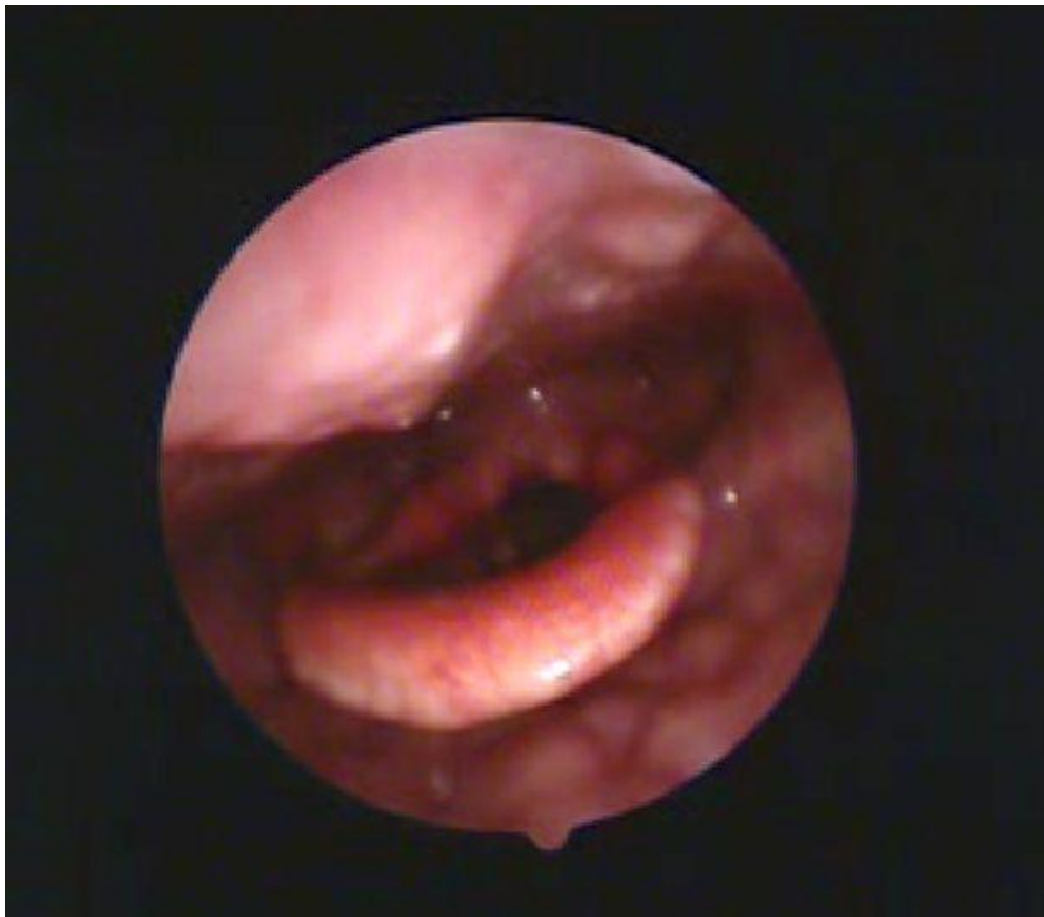
食事の選択



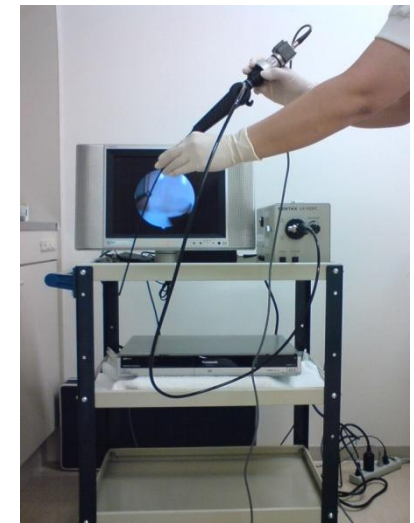
嚥下は嚥下することで、訓練されていきます。食事支援は嚥下訓練に繋がる場合が多くあります。

嚥下内視鏡検査（VE）

嚥下内視鏡検査を依頼して、嚥下状態を直接確認することもあります。



* 歯科医師による嚥下内胸検査



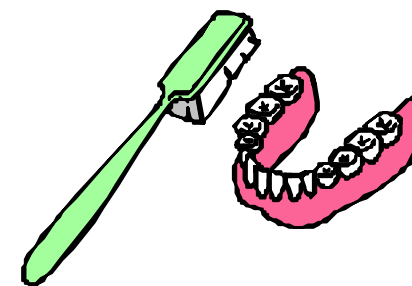
どんなシーンでも有効なのは？



口腔ケア！

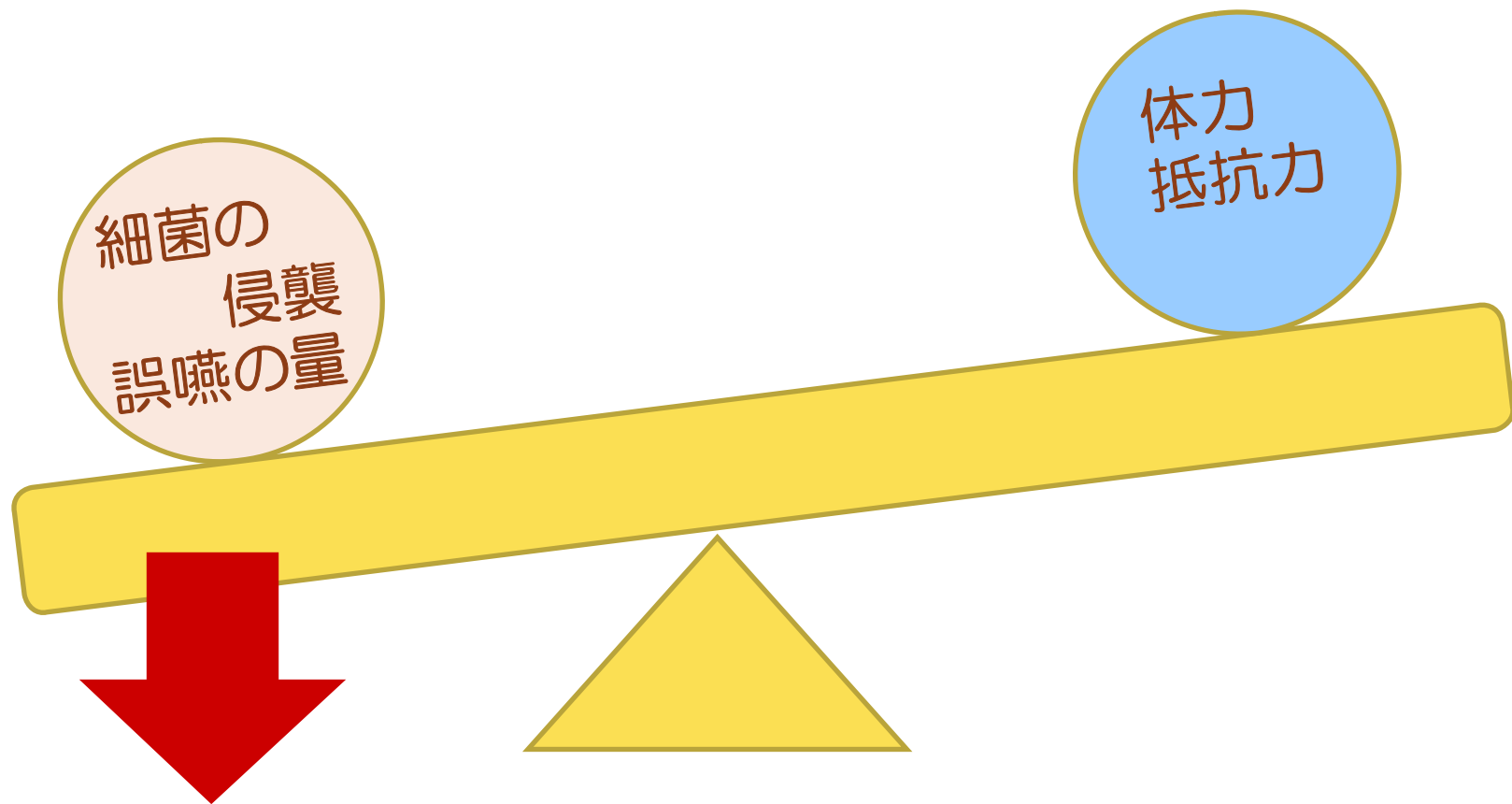
口を触ることでの効果はとても大きいです！

- 誰でも出来る！
- ストレッチ効果がある！
- 唾液の分泌が良くなる！
- 食べ物を感知しやすくなる！
- 唇や舌の機能改善にも繋がる！
- 嚥下反射が改善する場合も！



・・・等

さらに・・・



誤嚥性肺炎
(日本人死亡原因第4位が肺炎)

連携？



連携を取るということは



まとめ

- 介護者の負担にならないように

- 出来ることから

食事の環境設定や食事介助の工夫等を提案して、安全に
安楽に食事が出来るように

- 日常生活の中で工夫

- 深刻にならないような伝え方

- 無理はしない

ご静聴ありがとうございました